

# 重田 祥範

SHIGETA, Yoshinori



准教授

所属…環境学部 環境学科  
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

shigeta@kankyo-u.ac.jp

**主な担当科目** 気象学概論, 大気環境学, 地球システム学, 地学実験, 理科指導法Ⅳ, 局地気象学特論(大学院)

**研究者略歴**

2005 (平成17) 年 3月	岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科 卒業
2011 (平成23) 年 3月	岡山大学大学院自然科学研究科博士後期課程 修了
2011 (平成23) 年 4月	立正大学地球環境科学部環境システム学科 助教 (~2015年3月)
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科 講師 (~2017年3月)
2017 (平成29) 年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科 准教授
2017 (平成29) 年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科 准教授(兼任)
2017 (平成29) 年 4月	公立鳥取環境大学人間形成教育センター 准教授(兼任)

**取得学位** 博士(理学)(岡山大学)

**専門分野** 局地気象学, 生気象学, 自然地理学, 地学教育

**現在の研究テーマ**

- ・都市ヒートアイランド現象の形成メカニズムに関する観測的研究
- ・大規模緑地がもたらす大気冷却効果の検証
- ・温熱指標を用いた熱中症リスクの評価
- ・環境センサーを用いた気象要素とバイタル変動の抽出
- ・センシング技術活用によるバイオクリマ研究手法の検討

**受賞歴** 2014 (平成26) 年7月 第9回全国大会ベストポスター賞(日本ヒートアイランド学会)  
2015 (平成27) 年11月 平成27年度 日本生気象学会研究奨励賞(日本生気象学会)

**所属学会** 日本気象学会, 日本生気象学会, 日本農業気象学会, 日本地理学会, 日本地学教育学会, 日本ヒートアイランド学会, 土木学会, 環境情報科学センター, バイオクリマ研究会

**資格** 中学校教諭専修免許状(理科), 高等学校教諭専修免許状(理科), 健康気象アドバイザー

**研究等活動**

**【著書】**

- ・「環境のサイエンスを学ぼうー正しい実験・実習を行うためにー」, (共著), 2016年, 丸善プラネット出版.
- ・「環境のサイエンスを学ぼうー人と地球の未来のためにー」, (共著), 2011年, 丸善プラネット出版.

**【論文(査読有)】**

- ・「秋季晴天静穏日における兵庫県神戸市の局地風系と気温変化に関する事例解析」(共著), 2017, 天気, 64, 93-101.
- ・「業務および住宅街区の気温・湿度に対する電力感応度の解析と考察ー2013年・大阪市内の観測を通してー」(共著), 2016.日本建築学会環境系論文集, Vol.81, No.727, 827-834.
- ・「Impact of seasonal variations in weekday electricity use on urban air temperature observed in Osaka, Japan. Quarterly Journal of the Royal Meteorological Society」(共著), 2016, Vol.142, Issue 695 (January), 971-982.
- ・「岡山市街地を対象としたヘリコプターによる表面温度画像の取得と地上気観測」(共著), 2015, Naturalistae, 19, 65-74.
- ・「台風の「吹き寄せ効果」に着目した高潮の再現計算ー台風 0416・0418号を対象としてー」(共著).2014, 風工学シンポジウム論文集23, 523-528.
- ・「定点型観測と多変量解析によるヒートアイランド強度の日変化パターンの抽出ー2013年8月の埼玉県熊谷市を対象としてー」(共著), 2014, 環境情報科学術研究論文集28, 379-384.
- ・「In situ Observational Research of the Gap Wind "Hijikawa-Arashi" in Japan.」(共著), 2014, Meteorology and Atmospheric Physics, 127, 33-48.
- ・「住宅街に囲まれた大規模公園で発生するクールアイランド現象ー岡山県総合グラウンドの事例ー」(共著), 2014, Naturalistae, 18, 13-22.
- ・「愛媛県大洲市沿岸部で発生する局地風「脇川あらし」の鉛直構造」(共著), 2014, 天気, 61, 91-96.
- ・「Observed and simulated sensitivities of summertime urban surface air temperatures to anthropogenic heat in downtown areas of two Japanese major cities Tokyo and Osaka」(共著), 2013, Theoretical and Applied Climatology, Volume 117, Issue 1-2, 175-193.
- ・「Effects of Synoptic-scale Wind under the Typical Summer Pressure Pattern on the Mesoscale High-Temperature Events in the Osaka and Kyoto Urban Areas in Japan by the WRF model」(共著), 2013, Journal of Applied Meteorology and Climatology, Vol.52, Issue 8 August, 1764-1778.
- ・「Effects of Land Surface Temperature on the Frequency of Convective Precipitation in the Tokyo Area」(共著), 2013, Journal of Geographic Information System, Journal of Geographic Information System, 5 (3) 303-313.
- ・「都市内の大規模緑地がもたらす大気冷却効果ー大阪城公園の事例ー」(共著), 2013, 日本生気象学会雑誌, Vol.50, No.1 March, 23-36.

**【国内・国際発表(第1発表者)】**

- ・「森林内の気象変化がもたらすバイタル変動ー個人差の検証ー」(共著), 2016, 第55回日本生気象学会全国大会(札幌).
- ・「長野市を対象とした熱中症リスクの評価(1)ー気温・不快指数からみる暑熱環境ー」(共著), 2016, 第55回日本生気象学会全国大会(札幌).
- ・「長野市を対象とした夏季の暑熱環境調査ーWBGTを用いた熱中症リスクの評価ー」2016, 2016年度日本建築学会大会(福岡).
- ・「長野市を対象とした夏季の暑熱環境調査(1)ー日最低・最高気温の決定要因ー」(共著), 2016, 2016年度日本気象学会春季大会(東京).
- ・「岡山地方気象台の移転にともなう気温の階級別日数・時間数の変化予測」(共著), 2015, 2015年度日本気象学会秋季大会(東京).
- ・「露場移転にともなう観測データの切断と気象統計項目の変化ー岡山地方気象台の事例ー」(共著), 2015, バイオクリマ研究会第19回研究成果発表会(東京).
- ・「中央高気式気候に属する長野市の暑熱環境調査(1)ー地上気温の形成要因ー」(共著), 2015, バイオクリマ研究会第19回研究成果発表会(東京).
- ・「Cooling effects of large green park on urban atmosphere observed at the Osaka Castle Park in Osaka」(共著), 2015, Japan, 9th International Conference of Urban Climate, Toulouse (フランス)

**社会貢献活動**

- ・NPO法人バイオクリマ研究会 理事(2014年5月~)
- ・「都市ヒートアイランド現象が植物季節に与える影響」, (模擬授業), 京都府立鳥羽高校, 2015年度.
- ・「ヒートアイランド現象と研究」, (模擬授業), 神戸大学附属中等教育学校(5年生総合的学習KOBEプロジェクト), 2015年度
- ・「巨大地球儀で気象を学ぼう」, (サイエンスレクチャー), ジオパーク科学実験教室, 2015年度~
- ・日本ヒートアイランド学会 学会誌委員(2016年6月~) 日本ヒートアイランド学会 事務局長代理(2016年6月~)
- ・鳥取県環境影響評価審査会委員(2016年9月~) 生気象におけるIoT推進WGリーダー(2017年4月~)